

正 誤 表

『ガス溶接・溶断作業の安全 ガス溶接技能講習用テキスト』
(第3版)において、下記のとおり誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

中央労働災害防止協会
令和2年4月

頁／ 行	誤	正
17 頁 図 1.4(C)	定在火炎	定在火炎 ^(注) <u>(注) 火炎がバーナー上端に形 成され、保持されている状態。</u>
34 頁 図 2.2 (b)	合計内容積 400 以上	合計内容積 400 <u>L</u> 以上
34 頁 図 2.2	(編注)酸素ホース、アセチレンホースの吹管への接続は、 酸素が上部、アセチレン等燃料ガスが下部に接続されるの が一般的です。	
55 頁 12 行	…再検査を受けなければな らない。	…再検査を受けなければな らない ^(注) 。 <u>(注) 『ガス切断・ガス溶接等の 作業安全技術指針(JNIOOSH-TR- 48:2017)』による。</u>

頁／ 行	誤	正
60 頁 2 行	…安全器を常に	… <u>導管</u> を常に
72 頁 21 行	…再検査を受けなければなら ない。	…再検査を受けなければなら ない ^(注) 。 <u>(注)『ガス切断・ガス溶接等の 作業安全技術指針(JNIOOSH-TR- 48:2017)』による。</u>
73 頁 8 行	逆火は火炎の燃焼速度より 混合ガスの噴出速度が大き くなったときに発生する。	逆火は火炎の燃焼速度が混 合ガスの噴出速度より大き くなったときに発生する。
81 頁 22 行	…再検査を受けなければなら ない。	…再検査を受けなければなら ない ^(注) 。 <u>(注)『ガス切断・ガス溶接等の 作業安全技術指針(JNIOOSH-TR- 48:2017)』による。</u>

以上